

まごころだより

2020. 2月号

幸福だと感じる時とは

幸福と感じる時とはどんな時ですか。と聞かれたら皆さんはどう答えますか。私の場合は即座には答える事ができないと思います。改めて幸福と感じた時があったか思い返さないとなかなかこれと言った幸福感を示すことが出来ません。非常に残念で罰当たりな事かも知れませんがそれが正直なところ。本当の幸福とはどういうことなのでしょう。かなり深い事柄になってしまいましたが、欲を満たせば幸福なのかと言われたら、欲を満たした人はずーっと幸せだと感じているのでしょうか。例えば日頃求めている幸福がどのようなものなのか。「幸せな家庭を築く」「裕福な生活をおくる」「仕事がうまくいく」「人から感謝される」「好きな事ができる」みたいな感じが幸福だとすれば、なんか手に入りそうな感じがします。がどれも達成したら今よりもっと、もっととなりそうな気がします。そんな幸福は切がないということなのでしょう。無ければ無いで欲しくなる。有れば有ったでもっと欲しいと切がない。言ってみればこんな幸福は満足が出来ない幸福なんだろうと思うのです。このような幸福も必要だとは思いますが、「本当の幸福とは」と考えるとどうも違うような気がします。昔から多くの「幸福論」の書物が出ていますが、感動を覚えるものや感銘を受けるものなど、とても沢山の幸福論の本があるようですがとても難しい本みたいです。

生きる気力

施設で多くの高齢者と関わっている者として満足して頂きたいといつも考えているのですが、提案することといえば直ぐに叶えられてしまうことや、そんなアイデアなんかで満足できるわけがないなど、人それぞれの希望に添うことはとても難しいことだと思うのです。それでは人の内面に潜む希望とか要求を理解するにはどうすればいいのでしょうか。今のところその方との会話の中でしか探ることが出来ないのが現状です。もう一つはお家での利用者の様子や他面的なことを家族との関わりで得ていく事です。デイは利用者にとってお出かけ先という所で本当の顔を出されない方もおられるので把握するのがとても難しいと感じています。ですから家族からの情報提供は利用者の方をより理解するために私たちにとってとても貴重な情報になります。幸福だと感じてもらえる一歩として、まずは生きる気力を持っていただきたいと思っています。わずかの時間しか関わっていない私たちですが、それでもどうしたら満足してもらえるのかいつも考えています。



2月行事の予定

6日 (木)
13日 (木)
17日 (月)
21日 (金)
24日 (月)

初釜 お抹茶でひと時を
小物づくり
惣菜・菓子づくり
前畑さんの演奏で歌いましょう
食事会